

## ユニバーサルデザインの定義と特別支援教育との関連

いわき市立勿来第二小学校

### 1 ユニバーサルデザインとは

ユニバーサルデザインという言葉は、ノースカロライナ大学で建築や意匠を研究していたロナルド・メイスが中心となって提唱しました。その定義は、

できるだけ多くの人が利用可能であるように製品・建築・空間をデザインすること

です。つまり、老若男女や障害の有無といった差異や個人のそれぞれの感じ方のいかに問わず、だれもが安心して利用することができる施設や製品を設計する考え方です。

### 2 教育におけるユニバーサルデザイン

『通常学級での特別支援教育のスタンダード』（東京都日野市公立小中学校全教師・教育委員会、小貫悟）では、次のように述べています。

「障害の有無を超えた良き環境づくり」というユニバーサルデザインの視点は、障害児教育と通常教育とを融合する発想そのものです。(略)ユニバーサルデザインの考え方は「すべての子にとって、参加しやすい学校を作り、分かりやすい授業をする」という発想ですから、おそらく、これは通常学級の担任が教師としてのスタートを切った時から、今まで、ずっと堅持してきた姿勢そのものであるはずで

ここに述べられている「すべての子にとって、参加しやすい学校を作り、分かりやすい授業をする」ことは、これまで多くの(全ての)教師が思いを寄せてきたことで、新しいものではありません。

すべての児童(児童の差が大きすぎるときは、できるだけ多くの児童)が過ごしやすい・学びやすい環境づくりや支援の工夫を、学級の実態を踏まえ、実際の学校生活(授業)に取り入れていくこと

が、教育におけるユニバーサルデザインと言えると思います。

### 3 ユニバーサルデザインと特別支援教育との関連

2005年に出された中央教育審議会答申『特別支援教育を推進するための制度の在り方について』には、次のような指摘があります。

学校全体で特別支援教育を推進することにより、いじめや不登校を未然に防止する効果も期待される。(略) こうした考え方が学校全体に浸透することにより、障害の有無にかかわらず、当該学校における幼児児童生徒の確かな学力の向上や豊かな心の育成にも資するものと言える。こうしたことから、特別支援教育の理念と基本的考え方が普及・定着することは、現在の学校教育が抱えている様々な課題の解決や改革に大いに資すると考えられることなどから、積極的な意義を有するものである。(下線 善方)

「特別支援教育」とは、

幼児児童生徒の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの(文部科学省HP)

ですから、その理念が、「(教育の)ユニバーサルデザイン」という考え方で広がることは、大きな意味のあることと言えます。

### 4 本校の研究におけるユニバーサルデザインのとらえ方

これについては、本年度の『「現職教育」推進計画』には、次のように書きました。

- (1) ユニバーサルデザインとは、特別な支援を必要とする児童のためだけのものではなく、「特別な支援が必要な児童には“ないと困る支援”であり、どの児童にも“あると便利・有効な支援”」である。
- (2) ユニバーサルデザインは、授業の「ねらい」を達成するため、授業者の教材研究に基づいた指導の工夫をもとに、すべての児童に「わかる」「できる」授業を行うための考え方・手法であって、手段である。ユニバーサルデザインそのものが万能なのではなく、研究に際して、手段と目的の混同を避けたい。
- (3) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりは、学習指導だけでなく、生徒指導や特別支援教育も含めて検討すべきであって、その土台となるのは各担任の学級経営である。
- (4) 授業におけるユニバーサルデザインは、これまで多くの先生方の手で意識的・無意識的・経験的に実践されてきたものも多くあるはずで、全く新しいものではない。

ご自分の学級の、いわゆる「手のかかる児童」を思い起こしてみてください。

学級には、その他にも多くの児童がいるわけですから、その児童にばかり手をかけるわけにはいきません。

しかし、その児童にターゲットを絞り、「その子が集中できるような方法」を考えて実践してみることが、他の児童も集中するために有効なのではないか。

「(ほかの子はともかく) その子がわかるような方法」を考えてみると、それは、その子以外の児童にも有効な方法になるのではないか。

学級全体のレベルや実態はひとまず置いておき、その子のことを第一に考えて授業づくりをしてみると、それは、学級全体にも有効な授業になるのではないか。

このような視点をもって、一人一人が「わかる」「できる」授業づくりを行っていくことを進めていきたいと思います。

<メ モ>